

講座参加者の声

公民館では年間を通してさまざまな主催講座が行われています。今回は、今年1月～3月に実施された講座に参加された方々に感想を寄せていただきました。それぞれの雰囲気を感じていただき、ぜひ今後の講座にご参加いただければと思います。



オンラインを使っただけの講座でした

「LGBTQ+」という本を読み、様々な性の在り方が存在することを知り、今の私が置かれている状況を知るために参加しました。先生と参加された方との間では温かい空気が生まれとても受講しやす

一人一人がひとりであるために
「LGBTQ+」だけじゃない、性別の話、時代とともに変化する、最新の性別事情」を受講してー
稲村 真利亜 (市内中学生)

すかったです。性別も含め時代が変わっていくというところは人の考え方も変わっていくことなんだと先生のお話を聞いていくうちに気づきました。
今回学んだことを踏まえ私が大切にしたいと思ったことは、時代の流れと、考え方や性格などに生じる個人差です。
私達が日々生きていく中で「個人差」という隙間はその時の時代により変化していきます。その隙間には今回のテーマの性別も含まれると思いますが、生きていく上でできる個人差は誰かが勝手に埋めていいものでも、誤魔化しているものでもありません。普段はその

の隙間をマイナスに捉えがちですが、そうではないと思っています。なぜなら、時にはその隙間が原因で争いを生み、人の命を奪うこともあるけれど、時にはその隙間が多額の新たな考えを生み人の命を救えることだってあるからです。
なので、今すぐに世の中にある固定観念を壊すことは出来なくても、1人でも多くの周りの人の隙間を大切にすることで、人の隙間を大切にしたら人も、大切にされた人も生きやすい世界に変わるのではないかと思いました。
こうした周りも自分も大切にす

今月の公民館 (6月～7月中旬)

9日(木) 夜～ くにたちブッククラブ
金原ひとみ『持たざる者』

12日(日) 昼 図書室のつどい
『和菓子の歴史と魅力』

18日(土) 昼 ★図書室のつどい「即存の恋愛観に振り回されない“プロヒモ”幸福論」
シネボックス

26日(日) 昼 CINEVOX シネマトーク
『眠狂四郎勝負』

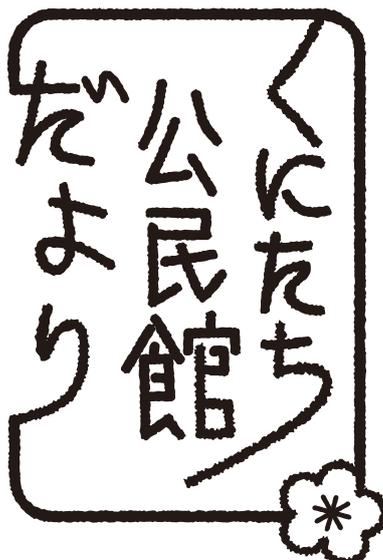
★はオンライン受講可能な講座です。

今後の動向により、開催の延期や中止など変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせいたします。
ご不明の点はお問い合わせください。
公民館 ☎ (572) 5141



公民館の状況▲

今回の講座で私はまた新たな気づきや、大切にしようと思う考えができました。まだまだ未熟ですが、これからたくさん学んで、丁寧に教えてくださった先生や、こうした文章を書かせていただくきっかけをくれた職員さんのように、私も誰かにきっかけをあたえられたい人になりたいと思いました。
このような素敵な講座を受講できたことをとても嬉しく思います。ありがとうございます。
(2022年1月7・14日開催)



第 748 号
2022年 6 月 5 日
(令和 4 年)
「くにたち公民館だより」
ホームページの QR コード▶

発行
国立市公民館
〒186-0004
国立市中1-15-1
TEL 042-572-5141
FAX 042-573-0480
休館日：毎週月曜日

真の「主権者」になるための第一歩は？

—「憲法(政治)講座」を受講して—

鳥居 正彦

日ごろ政治のニュースを見ていると、何かモヤモヤとした気分におそわれる。問題は山積しているのに、国会での審議、国民に対する説明責任は尽くされているのか？ そもそも国会は国民の意思を反映しているのか？ なぜ、選挙の投票率が低いのか(特に若者)……？ こんなモヤモヤ感を解消するヒントになればと思います、今回「憲法(政治)講座」(全3回)に参加することにした。

の政治参加の促進を目指して、大学生を中心に活動中の団体。SNSを通じた情報発信及びイベントの企画運営、地方選挙における投票啓発などを行っている。政治に無関心といわれている若者が、日常から政治について考え、話すきっかけを提供するという意味で、非常に有効なツールになっていると共感した。

第1回は、石井佑果さんと足立あゆみさん(NO YOUTH NO JAPAN)の「若者が目指す政治参加とは」。「NO YOUTH NO JAPAN」とは、30代以下の世代

第2回は、中北浩爾先生(一橋大学)の「10・31衆院選を読み解く」。選挙の結果は、自民党が「絶対安定多数」を確保、野党共闘は振るわず……。中北先生は、自公政権の行方と野党共闘の可能性について、多角的に分析。論点は多岐にわたっていたが、どれも興味深いお話しだった。「ジヤイアンのような自民党の強さ」という表現が面白かった。

第3回は、大山礼子先生(駒澤大学)の「国会の制度から今後の政治を考える」。大山先生は、国民代表機関としての国会の役割は、①多様な国民の声を適切に代表し、②審議を通じて政策決定に反映さ



講師の話熱心に聞く様子が印象的でした

せることであるとした上で、日本の国会には2つの欠陥があると指摘する。第1は、多様性を欠く構成の象徴としての女性議員の極端な少なさ。第2は、本会議審議時間の短さと不活発な議案修正である。日本の現状をみると、クオータ制など強制力を伴う制度の導入が必要だと思った。今回3つの切り口から、議会制



身近な地域の戦争の跡について学びました

講座は座学とフィールドワークの2回シリーズで、いずれも講師の植崎先生が作成した資料を基に詳しく解説をしてくださいました。1回目の座学では国立周辺にあった軍事施設と空襲について学びました。国立市内でも空襲があったこと、さらにB29が墜落してその搭乗員が暴行された悲劇的な事件があったことは全く知らなかつ



講師の植崎さん

たので本当に驚きました。2回目のフィールドワークでは空襲で破損した二宮金次郎像など、多くの場所をご案内いただきました。一番のハイライトは旧日立航空機株式会社社変電所でした。日立航空機工場内にあったこの建物には空襲の際の機銃掃射による穴が無数に開いていて、戦争の悲惨さを生で感ずることができました。空襲では逃げ惑う人々が狙い撃ちされたり、防空壕が崩れて多くの方が犠牲になったという悲惨な



銃撃跡が残る旧日立航空機株式会社社変電所



空襲で破損した二宮金次郎像(左)(立川八小)

意外に身近に残る戦争遺跡に驚き

—「多摩地域の戦争の跡を訪ねる」を受講して—

天野 美穂

私は約35年ぶりに国立市に戻ってきて、ほぼ一番最初に手にした「公民館だより」にて今回の地域史講座を知りすぐに申し込みをしました。国立にはほとんど知り合いませんでしたが、参加して本当に良かったです。

民主主義について考える機会をいただいた。私たちはいつの間にか、「選挙に行っても変わらない」と思い込まされてしまったのではないかと。国民が政治(選挙制度)に関心をもち、国会を監視すること。ここから今夏の参議院選挙につなげていきたいと思う。(2022年2月23・27日・3月6日開催)

話も説明を受けました。

こんな身近に広島原爆ドームに匹敵するような戦争の遺跡が残っているとは知りませんでした。平和の大切さを伝えるためにも、後世に残していけないといけない建物なのは間違いありません。玉川上水駅から徒歩にて行くことができますので、多くの方に訪れていただきたいと思っています。



お天気にも恵まれたフィールドワーク

今回の講座で多くのことを学び、考えさせられました。講師の植崎先生、お手伝いをしてくださった国立まなびあるきの会の皆様、本当にありがとうございます。折角国立に戻ってきたのですから、もっともっと地域のことを知りたいたいと思います。

(2022年3月12・19日開催)



再生と再製

「時代劇」を振り返る「生き死にの型、人の世の夢」を受講してー

井上 龍達

唐突ながら表現行為は、並べては滅した物事を甦らせる為の装置だと考えて居る……今現在失われて終い、しかし作者の内には損なわれた箇所へ何かしら重要な意味を持つて居たと思つたに違い有るまい……滅したには理由／今はもう亡き姿に為るには様々な原因が有るが、少なくとも生きた当時新たな強い勢力が何等かの手を加え不在の者へと追い遣る要因が有るだろう／加害と言つても過ぎるのでは有るまい……今我々が此処に足を付け地に立つて居る場所は沢山の亡き事物の亡き骸の上だったりするのだろう……自分が意識し或いはせずとも自分達が手を下し葬つたる遺伝子は身体の奥底に眠つて居るのだろう……

個人的な話で恐縮だが今『くにたち市民オペラ』の制作に携わる……60年代西武建設の都市計画により計画的に造られた放射状の快速未来都市くにたちと古くから既に在る多摩川や谷保天満宮との二つの時間の闘ぎ合い／粗く要約し過ぎたが、自然の野生は人間が行



講師の武村さん (一橋大学教授)

う快適さの追求の名の下、可視可能な処から深く覆い隠されて怒る自然神は大洪水で人間文明に抗うが次々に湧き起こる人間の快樂的欲求に抑え込まれ旧い価値観を持つつかつての諸人はもう誰も居無い庭でひっそりと梅の花を咲かせてる……

今回考察された時代劇講座の1コマとして取り上げられそうな物語だった事は決して偶然では無い……時代劇は滅び行くモノへの鎮魂そしてレクイエムであり其れ等滅びたるモノを看取る役を担う事が我々観客の使命なのだろう……しかしながら其れ等滅び行く事に手を加え圧して居たのは実は私達

公民館へご来館の際のお願い

平素は新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

引き続き感染拡大防止のため、講座参加と会場ご利用の際は、以下の点にご留意ください。よりよい学習環境を保つために皆様のご協力をお願いいたします。

- ・自宅で検温してからお越しください。(発熱37.5℃以上、咳、咽頭痛等の症状のある方はご来館をご遠慮ください。)
- ・マスクを着用してください。
- ・石けん等による手洗いや消毒液による手指の消毒を行ってください。
- ・過去2週間以内に感染拡大の地域や国へ訪問歴のある方はご来館をご遠慮ください。
- ・会場のご利用にあたり、サークル・団体の代表者等は、参加者氏名と緊急連絡先を必ず把握し、保健所等から依頼があった場合は、参加者名簿を提示してください。
- ・会場はこまめに換気してください。



だったのだ！ 無自覚と云うのは一番恐ろしい鬼なのかも知れぬ……自らの内に潜む鬼を認めつとして私自身現在も行われ続けられる抑え込みを知らず知らずにか執行して居る加害者なのだろうと自覚しながら今日を生きて居るので在る。

(2022年2月18・25日・)

3月8・15・29日開催)



世代を超えて、活発な意見交換も行われました

〈図書室のつどい〉

オンライン
受講可能

既存の恋愛観に振り回されない“プロヒモ”幸福論

お 話 ふみくん (ライター)

近年、多様な生き方やパートナーシップをめぐる価値観があるなか、新しい生き方を模索されている人がいます。

「稼ぐこと」はパートナーに任せ、多少の仕事をしながら得意な家事やメンタルケアなどでパートナーをサポートする著者は、ご自身のことを“プロヒモ”と名乗ります。男性だからとバリバリ働くことに違和感を持ち、「男らしさ・女らしさ」から距離をとり、自分らしい価値観を突き詰めた結果、今の生き方・考え方にいき着いたそうです。

“ヒモ”という生き方に様々な声があるなかで、著者が追い求めるパートナーとのフェアな関係性や仕事観、既存の恋愛観からくる偏見への向き合い方などを知り、多様な生き方について考える機会にできればと思います。

〈講演者の著書〉 『超プロヒモ理論 浮いた家賃は1000万、寄生生活13年の逃げきり幸福論』(二見書房)

と き 6月18日(土) 朝10時~12時

ところ 公民館 3階講座室

定 員 会場:25名 オンライン:30名

(申込先着順。会場は市内在住の方優先)

申込先 6月9日(木) 朝9時~6月16日(木) 夕5時

会場受講:公民館☎(572) 5 1 4 1

オンライン受講: sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

オンライン受講申込みメールに以下を明記ください

件名:図書室のつどい講座

本文:①氏名 ②ふりがな ③住所 ④電話番号

※当日、参加者側の環境における接続や音声・映像の不具合のお問い合わせには対応できません。ご了承ください。



監督 三隅研次 原作 柴田錬三郎 脚本 星川清司
出演 市川雷蔵、加藤 嘉、藤村志保、高田美和 ほか

柴田錬三郎のベストセラー小説「眠狂四郎無頼控」シリーズを市川雷蔵主演で映画化し、大スター・市川雷蔵のイメージを決定づけた、大ヒットシリーズの第2作。雷蔵は本作においてニヒルで妖しげな魅力を発する眠狂四郎像を確立、大映時代劇を支えた名匠・三隅研次の風格ある演出とも相まって、シリーズの実質的な原点となる秀作に仕上がった。



〈シネマトーク〉

「無頼の貴公子・市川雷蔵の光と影」北里宇一郎(脚本家)

上映終了後に、脚本家の北里宇一郎さんに、今なお映画ファンを魅了してやまない市川雷蔵の魅力についてお話をうかがいます。

と き 6月26日(日) 昼2時~夕5時(開場1時)

ところ 公民館 地下ホール

定 員 50名(申込先着順)

申込先 6月8日(水) 朝9時~ 公民館☎(572) 5 1 4 1

*事前申し込み制となっています。必ず電話もしくは窓口にて事前にお申し込みください。

*新型コロナウイルス感染予防のため、途中で10分程度、換気のため途中休憩を設けます。ご了承ください。

—2022年度 公民館講座・催し年間予定—

①現代社会の課題を考える

憲法

人権

平和

近現代史

環境

教育

多文化共生

ジェンダー・セクシユアリティ

リテイ

②共生の地域社会を育む

女性のライフデザイン

母と娘のむずかしさ

男性の料理教室

親子で遊ぼう考えよう

中高生のための学習支援

しょうがいしゃ青年教室

青年講座

青年室活動(コーヒーハウス)

シルバー学習室

ワークライフバランス

生活のための日本語講座

日本語教育入門

にほんごサロン

③まちを知る、地域から学ぶ

緑化活動

野鳥観察

地域資料

地域史

一橋大学連携講座

一橋大学院生講座

社会教育学習会

地域防災

④社会をみつめ、文化をつくる

古典

哲学

作家と作品

文化・芸術

図書室のつどい

映画会

シネマトーク

⑤表現と創作を楽しむ

身体表現

介護短歌

銅版画

文章表現

市民文化祭

～公民館で、自分の世界をちょっぴり広げてみませんか？～ 公民館では10代～30代のボランティアを随時募集しています!!

しょうがいのある方とレクリエーション・喫茶活動
しょうがいしゃ青年教室&喫茶わいがや

しょうがいのある・なしに関わらず、1人の人間として出会い、一緒に楽しみ学び合う活動です。

しょうがいしゃ青年教室のボランティアは、活動の企画・運営を他のボランティアや職員と協力しながら行います。スポーツ・クラフト・料理・1人でやらないことをみんなで相談して実践する講座の各コースは月1回ずつ活動。

喫茶わいがやは、しょうがいのある方と一緒にコーヒーを淹れたりお菓子をつくったり……と喫茶活動を行います。



しょうがいのある方と一緒に活動したことやボランティアの経験がなくても大丈夫!月1回から、のんびり活動することもできます。

対象：高校生～30代くらいの方
日時：主に土曜日の午後
ところ：公民館内 青年室
喫茶わいがや、ほか



Let'sバスケ!!(スポーツ講座)

問合せ・申込先 いずれも公民館 ☎ (572) 5 1 4 1
✉ sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

中高生のための学習支援
LABO☆くにスタ



市内在住・在学の中学生・高校生に向けた学習支援活動です。

LABO☆くにスタのボランティアは、参加する中高生の持参する宿題や教科書でわからないところを個別サポートします。学習とともに「居場所」としての機能も大切にしており、季節ごとのイベントの企画・運営に携わってもらうこともあります。

中高生の一歩先を行く先輩として、中高生と、他大学のボランティアとの出会いも楽しみながら一緒に活動してみませんか?

対象：大学生・大学院生
日時：水曜日夜6時～8時
(月3回程度)
ところ：公民館地下ホール



学習支援の様子

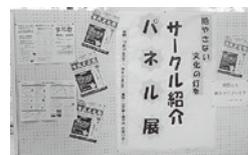
第67回くにたち市民文化祭 開催期間が決まりました!

今年のくにたち市民文化祭の実行委員長と開催予定期間が決まりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、展示や発表など盛りだくさんで開催する予定です。詳しい日程や行事の内容については、公民館だより10月号等でお知らせします。

◆開催予定期間
令和4年10月22日(土)～11月27日(日)

◆実行委員長
佐伯 安子
(くにたち合同いけ花の会)

◆次回実行委員会
とき 6月16日(木)夜7時～
ところ 公民館 地下ホール
問合せ 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



昨年度のくにたち市民文化祭の様子です



〈くにたちブッククラブ 感傷から遠く離れて〉

金原ひとみ『持たざる者』

(集英社文庫)

講師 榎本 正樹 (文芸評論家・現代日本文学)

とき 6月9日(木)夜7時半～9時半

ところ 公民館 地下ホール

定員 30名

(今年度すでに申込済の方は申込不要です。)

申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が「読み」を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

～今年度ブッククラブ日程(4月号掲載)で、未定だった月の日にちが確定しましたのでお知らせします～

月日	作品	講師
11月10日(木)	奥泉光『東京自叙伝』 (集英社文庫)	佐藤 泉 (青山学院大学)
12月8日(木)	福永武彦『草の花』 (新潮文庫)	大野 亮司 (亜細亜大学)

いずれも、時間：夜7時半～9時半
場所：公民館地下ホール



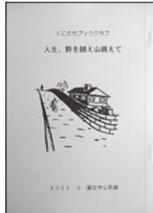
新しい発行物のご紹介

公民館の取り組みなどをまとめた冊子ができました。お読みになりたい方は公民館へお問い合わせください(配布用は数に限りがあります)。ご覧いただきまして、ぜひ、今年度の取り組みにご参加ください。

くにたちブッククラブ 『人生、野を越え山越えて』

くにたちブッククラブでは、毎年講習終了後に参加者による手作りの文集を作っています。文学作品を共同で読むことで深められた読みや気づきが綴られています。

講師の紅野謙介さんによる講義録「古川日出男『ベルカ、吠えないのか?』を読む」も掲載しています。



『第66回 くにたち市民文化祭 —記録集—2021(令和3)年度 絶やさない 文化の灯を』

秋の文化祭に参加した団体が、催しの成果を報告しています。市内で文化・芸術活動をしている方々の文化祭での写真も多く載っています。



国際交流 No.13

この冊子は公民館の国際交流事業として行った講座や催しなどの活動を、参加者の感想を中心に母語や日本語で書いていただいたものを編集し、まとめたものです。3年に一度、発行しています。

日本語を母語としない方々が、日常生活に必要な日本語を学ぶ、日本語講座の「学習者の声」では、様々な国の方々が、日本での生活のことや日本にきた理由などについて書いてくださっています。

そのほか、日本語教授法を学ぶ「日本語教育入門」や多文化共生に関する講座参加者の声を掲載しています。また、KUNIBO(くにたち地域外国人のための防災連絡会)と協力して実施している「にほんごサロン」、外国人と地域住民を対象にした防災企画なども掲載しています。



令和3年度 公民館の施設利用状況について

公民館は社会教育施設として、市民等で構成されるグループや団体に会場を貸し出しています。

活動目的や人数に応じて、大・中・小の集会室、講座室、ピアノのあるホールと音楽室、調理のできる実習室、着付けや茶道のできる和室の8つの部屋があります。なお、和室では机と椅子を使用し、実習室では間仕切りを活用すれば会議室としても利用できます。

令和3年度の時間帯別会場利用率は以下の表のとおりです。

■令和3年度 時間帯別会場利用率

(単位%)

会場(定員) 時間帯	ホール (85名)	音楽室 (20名)	集会室 (30名)	講座室 (35名)	中集会室 (20名)	小集会室 (10名)	和室 (20名)	実習室 (10名)
午前	88.6	75.3	65.5	66.5	72.5	48.5	68.7	46.5
午後	90.8	84.1	76.3	75.4	77.7	56.8	74.1	40.5
夜間	89.2	77.0	53.6	40.1	42.4	34.0	38.5	14.0

(注)利用率の算出処理上1日の利用時間を、午前・午後・夜間の3区分に整理。1区分に複数回の利用があっても1区分の利用とみなして利用回数を算出し、この算出数を年間延べ開室回数で割り、利用率を算出している。

ホールの利用率は平均88.8%で最も高く、次に音楽室が平均77.9%、続いて、集会室、中集会室、和室、講座室、小集会室、実習室の順となっています。新型コロナウイルス感染症の流行により低迷していた会場全体の利用率は59.9%となり、前年度の52.9%から若干増加しました。

多くの方に会場を利用していただけるよう、毎月第一土曜日に会場利用調整会を公民館利用者連絡会のご協力のもと開催しています。詳しくは8ページをご覧ください。

ひるば

(8ページにもあります)



「ハナモモ」

撮影 和賀 一 さん
(フォトサークルくにたち)

公民館4年度予算について

公民館予算は、1億2,385万9千円で内訳は表のとおりです。前年度と比較して119万3千円の増額となりました。主な理由は、職員人件費の増額と昨年度に実施した空調機中央監視装置修繕等の維持管理費の減額によるものです。

■公民館費の当初予算内訳 単位：千円

科目	3年度予算	4年度予算	比較増減
公民館総務費	94,594	95,635	1,041
人件費	49,852	55,637	5,785
報酬等	17,757	17,619	-138
維持管理費	26,985	22,379	-4,606
公民館事業費	28,072	28,224	152
主催事業費	14,411	14,563	152
広報費	7,355	7,407	52
図書室費	3,337	3,356	19
若者支援費	2,969	2,898	-71
計	122,666	123,859	1,193

- 一般会計予算
327億4,000万円 (前年度比10億300万円増)
- 教育費総額
29億7,283万3千円 (前年度比6,736万1千円減)
- 公民館費
1億2,385万9千円 (前年度比119万3千円増)

アクアかもめ水泳会員募集
運動不足の方、健康な体づくり
に水泳を始めてみませんか。初心者
者上級者、泳力別にコーチの指
導を受けて泳ぎます。男女問いま
せん。体験可。(無料)
日時 毎週金曜日朝10時〜12時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 鎌田 (57) 4274

社交ダンス会員募集
健康と豊かな生活のため社交
ダンスを始めませんか。公認ダンス
教師責任指導。種目ルンバ・スロ
1、基礎と応用があり初心者も安
心、入会月無料。ダンス銀のくつ
日時 6月10・17・24(金)昼3時
場所 公民館 地下ホール
連絡先 桜井 (35) 6791

公民館の緑化絵日記



今年も色とりどりの花やバラなど、公民館の植物が元気に育っています。

▲南側の花壇のバラ



これらの作業は、緑化ボランティアの皆さんが協力して行っています。公民館にお越しの際は、季節の変化をお楽しみください。

▲アンネのバラ

公民館運営審議会報告
5月10日(火)第33期第19回定例会を開催。委員15名、館長、職員2名出席。傍聴人3名。
前々回・前回議事録確認
○若干の修正を確認した。また前々回の修正内容の配布物のうち秘密部分を含むものは委員外秘として扱うことを確認した。

報告事項
○公民館だより編集研究委員会、東京都公民館連絡協議会などに関する報告があった。社会教育委員の会は、社会教育施設の横断・連携に関する施設担当者ヒアリングを進めており、公民館は6月に実施予定であることが報告された。

協議事項
○「新型コロナウイルス感染拡大
傍聴歓迎」
次回6月14日(火)夜7時15分
から地下ホール。感染予防の上、
(限井)

時における教育機関としての公民館事業について」の答申に向けて、各班から報告があり、公的記録や市民や職員へのアンケート結果、学習会のまとめ等、答申執筆の材料が出揃ってきたことを受け、各班代表が集まりブレインストーミングを行い全体構成のたたき台を作成し、次回定例会で審議することとなった。8月館長提出を目標とする。

○今年度主催事業について、館長から「大テーマ」の講座に代えて時事的なトピックに取り組み「理科系の講座」は休止し「文章表現」の枠を実施 などの方針と理由が説明された。次回審議予定。

ー8月(ロビ-9月)分 会場調整会のお知らせー

申込書のポスト投入期間	6月4日(土)~23日(木)
公用使用の貼り出し	6月10日(金)頃
予約の重なりのある 団体の掲示開始日	6月25日(土) 重なり状況▶ 
会場調整会	7月2日(土)朝10時~

- ・予約の重なりのある、なしに関わらず、電話による連絡はいたしません。(ご不明な点は、公民館へお問い合わせください。)
- ・会場調整会へは、1団体につき1名(第1希望の会場がとれなかった場合の別の候補日も想定して、活動日を決定できる方)の方が、手洗い・マスク着用等の感染症対策のうえ、ご参加ください。

会場調整会は朝10時
までに受付を済ませ
てください。



ひろば

(7ページにもあります)



数学を楽しむ集い(6月期)

規則正しく並べた図形の性質や個数の数え方を紹介します。数学の思いがけない使い方が分かります。どなたでも気軽にお越し下さい。参加の方は、お電話を。

日時 6月11日(土)25日(土)昼1時~
場所 公民館 集会室
連絡先 山本(572)1028

くにたち国際友好会WING

6月の国際理解講座は台湾について一橋大学OBで現在、台湾にてM&A等の業務をされている呉采模氏にお話して頂きます。オンライン故事前申込みお願いします。

日時 6月18日(土)夜7時~9時
場所 Zoomで行います。
連絡先 和田090(349)2110

マインドフルネスを楽しむ会

様々な大企業の研修でも取り入れられているマインドフルネス瞑想を体験してみませんか。集中力アップ、癒し等の効果があります。費用無料。気軽に参加下さい。

日時 6月12・19日(日)朝10~12時
場所 公民館 講座室
連絡先 酒井080(588)3095

水彩画「パレット」作品展

第16回サークル会員による作品展を開催いたします。今回も日頃楽しみながら描いている作品を、展示いたしますのでご覧ください。

日時 6月18日(土)~25日(日)休
場所 公民館 市民交流ロビー
連絡先 鉤持(576)2495

*ひろば

写真募集中*

国立の風景や行事などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。



公民館利用者連絡会

〈サークル訪問368〉

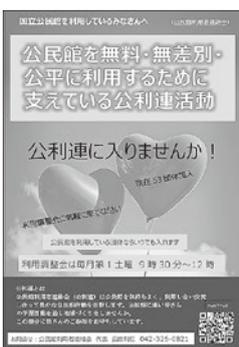
「公利連」はサークルではない。公民館と共に会場調整会を運営しているボランティア団体である。公利連のおかげで、朝行列することもなく、利用申し込みがスムーズにできている。そのことを皆様にお知らせするため取材した。

公民館はさまざまな講座での学びの場であると同時に、市民が主体的に集まり、交流やサークル活動を行う場としても活用されている。便利な場所にあり、かつ利用が無料であるから、無論、会場予約の競争は激しい。50年前までは申し込みの朝は行列ができて活動場所の確保が大変だったため、有志が連絡会を立ち上げ、利用調整会で作成した一覧表を朝一番に提出したが、負担が大きく公民館主催の調整会になった歴史があるとのこと。

朝9時半に地下ホールに下りると、公利連の世話人は机や椅子など運び、調整会の会場設営をしているところだった。調整会は公利連と市民の協力で毎月第1土曜日10時から行われるが、これは同じ時間帯に申し込みが重なった団体に参加し、利用を調整する場である。

る。原則は公平な話し合い。いつも使っている高齢者の団体が新しくきた親子のグループの活動も大事だからと譲ってあげたり、相手の活動の社会的な意義を感じ取って譲ったりしている。団体同士の関係性を築ければ、揉めないそう。利用団体同士、いい関係が作れていることが伝わってきた。これこそまさに、国立市公民館ならではの調整会の後は、公利連メンバーでその日のそれぞれの部屋の調整経緯を報告しあい、情報共有。公民館がお互いの考えや活動の幅を広げる豊かな文化の場になればと考え、利用者団体が公利連に加盟してくれることが望ましいとのこと。公利連はどのような役割を果たすべきか、コロナ後どう引き継いでいけるか、また高齢化での体制がいつまで続けられるかなど悩みは尽きない。

日時 第1土曜日朝9時半~12時
場所 公民館 地下ホール
連絡先 長田(326)0821
〈文・写真 鶴田 美緒〉



チラシは公民館にあります